

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2020年3月号(第63号)



牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

私が主を求めると 主は答え
すべての恐怖から 私を救い出してくださいました。

【詩篇 34 篇 4 節】

良い相談相手を持っている人は幸せです。親や兄弟、先輩や同僚、時には後輩に相談にのってもらうこともあるかもしれません。相手は誰であれ、気を許して様々な事を話せる人を持っていることは幸いです。ただ、一つ忘れてはいけないこととして、誠実に相談に耳を傾けてくれる人であっても、同じ人間であるという当たり前の事実です。もちろん第三者ゆえに良いアドバイスをくれることはあります。しかし、有限な存在でもありますから、時に的外れなアドバイスをされることもあります。あまりに頼り過ぎるとき、相手は負担に感じることもあります。そして、関係が悪化するということも時には起こります。では、私たちがもたれかかって頼ることができ、必ず解決へと導いてくれる存在はないのでしょうか。

今月の聖書のことばには次のようにあります。「私が主を求めると 主は答え すべての恐怖から 私を救い出してくださいました。」これは、王でありつつ多くの詩を作ったダビデという人が読んだものです。ダビデは、「私が主を求めると」と歌っていますが、「主」とは神様のことであり、神様に対しての祈りを表現しています。彼が神様に祈るとき、神様が答えてくださると言っています。この詩は、ダビデが危険な状況にあった時の事を振り返って書かれています。ですが、彼は危機の中で神様に祈りました。すると、主は答えてくださいました。おそらく音声として返答が聞こえたわけではなく、彼が危険からの救いを願って祈ったことに対して、何らかの形で救い出してくださいましたのです。ダビデは、主に対して祈っ

た結果として「すべての恐怖から 私を救い出してください。」と歌っています。

クリスチャンは祈ります。聖書の中にもクリスチャンが祈りをささげている箇所が多く出て来ます。しかし、いわゆる音声として神様から返答があったケースは多くありません。むしろ特別なケースです。しかし、信仰者たちは祈りを大切にしてきました。それは、神様が答えてくださるお方だからです。神様は、信仰者の祈りに耳を傾け、その祈りに最善の形で答えてくださいます。もちろん毎回私が願った通りにすべて事が運ぶわけではありません。全く違った方向に進むこともあります。しかし、私たちの神様は、私たちに対して必ず最善をなしてくださるお方だと聖書は語ります。私たちの思いを超えて、はるかに素晴らしいことをなして下さいます。取り分け、私たちの心が恐怖に支配されるとき、私たちは主を求めるわけですが、その祈りに主は答え、すべての恐怖から私たちを救い出してください。私もこれまで幾度もそ

のような体験をさせて頂きました。その度に、神様が確かに私を見てくださっていることを味わうことができました。誤解のないように申し上げておきますが、お祈りしたら何でも叶えられるということはありません。お祈りは、神様と私の会話であり、神様は私の父として、子である私にとって最善をして下さいます。ですから、時には私の思いとは違うこともなさいますが、後に最善であったと気づくこととなります。

あなたは、100%信頼できる絶対に揺らぐことない相談者を得ているでしょうか。人間も頼りになりますが、有限な存在であることを覚えるとき、無限の神にこそ頼って頂きたいと心から願います。

◆コラム

お祈りとは、多くの人にとっては神様に願いを聞いてもらうための手段という考えがあります。しかし、聖書では祈りは交わりであり、神様との対話だと教えます。父親と会話をするように、神様に祈る。願いだけをぶつけることは会話とは言えません。神様の素晴らしさを伝え、時に私の至らない点について救いを請うこともあります。神様は聖書を通して語りかけ、私たちは祈りをもって応答します。そこに双方向の交わりが成立します。本当の祈りを私も学び続けているところです。

～集会案内～

- 日曜日：聖日礼拝 11:00～12:30 ○水曜日：聖書研究祈禱会 10:30～12:00
教会学校 10:00～10:40（子どもから大人まで） 19:30～21:00
○毎月第2火曜日：ユニケの会 10:30～12:00（子育てなどを行っている方のための集い。）

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。